



第59号

発行所
愛知縣額田郡
幸田町公民館
印刷所
岡崎活版所

村はすこやか



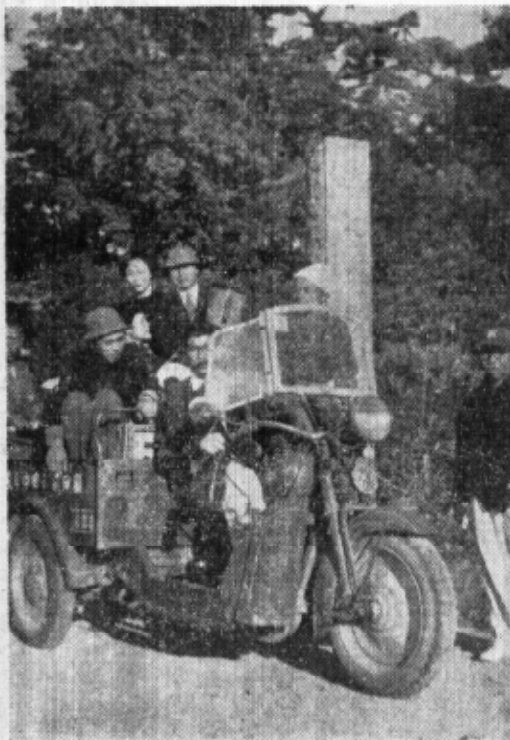
公民館表彰一周年に当り
県並に文部省の社会体育
研究町の指定と、朝日新
聞社の明るい健康な村つ
くり推選とを記念して

「公民館八ヶ年のいとなみ」の

一端を发声映画二巻
(八〇〇呎)におさめた。



生活改善、環境整理、放送施設等に
よる時間の余剰を保健体育レクリエー
ションにむけて



ある日のロケ隊

愛知縣額田郡幸田町 公民館
幸田町
神尾由男
上村洋
柳武夫
小花園プロダクション
愛知縣教育委員会
(文部省へ申請中)

登場人物

本多 富三 区長 (小野 宗重)
豊 富三 長男 (志賀 守夫)
高子 その妻 (足立 智枝)
芳江 富三 長女 (神取 幸子)
志賀 幸太郎 老人 (伊野 鯉之助)
町長 夫妻
公民館主事
社会体育指導員
その他町民多数

年末防犯について

岡崎警察署

岡崎、額田在住の皆さん

昭和二十九年も後一ヶ月となり、年の瀬も目の前におし迫つて参りました。年末のあわただしい家庭生活乃至は人心浮動から毎年のごとながら年末はその隙を狙つて兇悪事犯並びに忍込、空巢、万引、すり、押売、自転車盗を始め、各種犯罪の増加が予想されてまいります。

すでに皆様御承知の通り、近くは西尾市の雑貨商老夫婦を短刀で殺傷した二組の強盗殺人事件(間もなく犯人はたい捕さる)等が発生し被害を蒙つた気の毒な方もあります。犯罪を予防するためには、犯人にその隙を与えないことが最も大切であつてこのような兇悪犯罪その他一般の犯罪を最少限に防止するためには、皆さんが常に防犯を忘れない心構へが大切であります。どうぞ左記の年末防犯心得に御協力の上無事に今年を送つて、来るべき新春を明るく迎へようではありませんか。

一、家を留守にする時は、留守居番をおくこと。やむを得ない時は鍵

を完全につけ、隣に見廻りを頼む
二、商店は雑踏を狙つて万引掻渡が増すから必ず店番をおく。
三、現金を多く家におかぬ。
四、就寝する時は戸締りを完全にし火の用心をすること。
五、来訪者のある時、深夜の場合はよく人相や容姿を確め、昼の場合はすぐ応待する。
六、うますぎるような話にうっかりのらないように。
七、慈善事業を口実とする行商人や押売に注意する。
八、自転車は必ず施錠し、中抜きをして見易い所におく。
九、もし被害をうけたら現場をそのままにして、すぐ警察へ届け出る
十、警察電話は四二番、一二四二番
一二三七番、一、二三八番
非常の時は、番号なしで「警察」と呼んで下さい。

とき 十二月二十二日

午前九時〜午後四時

ところ 幸田中学校

産業振興祭

一目して本町産業の全貌がわかる

映画「村はすこやか」 初公開

なぜもつと早く

—ある農家の主婦の生活と意見—

○百姓でさえなかつたら

なんとという皮肉だらう、農家の主婦のいそがしさをあんなに呪つていたわたしが、いまではそのいそがしさの中だけに、かろうじて心の安らぎを見いだしていようとは……

わたしは、ひとりになることが怖いひとりになると、きまつて良夫のことが思い出されて来る。夜しまい湯に疲れた体をひたしている時とか、それからたまさかの骨休めにぼんやりしている雨の日など、きまつて良夫の面影が幻のように浮んで来て、わたしにすらい思をさせる。この間もわたしは味噌だしに納屋に行つてそこで思はず泣きくずれてしまつた納屋の片隅に、どうしてまぎれこんでいたものか、こわれた玩具のラッパを見つけたからだ。この春花見に行つたおり、せがまれるまゝに良夫に買つてやつたそのラッパだつたが……。

いまは幸い、というのは妻だが、ほんとうに猫の手も借りたほどの農繁期のいそがしさに取りまぎれてはいるが、それでもイネ刈りなどして

いると—良夫の死んだのがちようど田植の日だつたので、それにつらなる連想として、思い出されてくることが多いのだ「なぜもつと早く」あの時往診して下さつた診療所の国見先生が、まつさきにおしやつたのが、この言葉だつた。それがいまもつて、わたしの耳に焼きついてはなれない。良夫を死なせたのは、まつたく自分の不注意からだつた。先生のおつしやるように、もつと早く気がついて手当てさえていたら、死なずにすまふことができたのだ……

この思いは、触れれば血を吹く傷口として、一生癒えることはないだらうと思う。けれども、そう思うと同時に、しかし、しかしと追いつめられたネズミのように、わたしは何ものかに向つて、せいといつばいの爪を立てたくなつてくる、—わたしばかりが悪かつたのだろうか？ わたしが百姓でさえなかつたら、良夫を殺さずともすんだのではないだろうか？ ……。(続く)



農繁期でも
手間のかゝらぬ

有利な牛蒡栽培 新田分館

一、性 状

殆ど気候を選ばず、表土膨軟で深く
沖積土で多少粘質の肥沃地に優品が
できる。輪作四一五年排水良好であ
ること。

二、品種の選択

出荷時期、排水の良否、耕土の深淺
を考慮。

1 早期出荷で排水不良の場合。

早生系 渡辺早生、早生中の宮。

2 晚期出荷 土地良好の場合。

滝の川種、新田種。

3 加工出荷 砂川、大浦種。

三、栽培 法

イ、播種期 春三月上旬～四月下旬
秋九月下旬～十月下旬

ロ、播種量反当五合——一升。

ハ、畦巾 二尺—二尺五寸。

ニ、株間 五寸—二寸五分。

ホ、間引三回 本葉一枚発生時、二
葉 発生時、三葉発生時。

ヘ、中耕二回 間引完了後。

間作麦刈取後。

ト、施肥量

堆肥二〇〇貫中耕の際、鋤込。
草木灰一〇貫元肥として整地前。

下肥五〇〇貫元肥百貫間引後三回

に分施百、百五十、百五十。
千代田化成一〇貫間引後二回。
以上成分 N四・五、P三・〇
K四・二

購入肥料代 二、一〇〇円

四、整地、播種

特に深耕し、予め間作麦の畦巾を広
めて移植しておく。(生育時の防寒
防風のため) 種子は水選し点播又は
一条播、覆土の上に川砂をまく

五、播種後の管理

三月上旬下種して下旬には発芽する
間引は牛蒡栽培上技術を要し且つ重
要な作業である。思い切つて早く目
的の株間にすることが優品を多収す
る秘訣である。

株間と収穫期(根指大のもの)

収穫期 七月 四寸～五寸
八月 三寸～四寸
九月 三寸～二寸五分 株間

間引の注意

イ、葉の成長と發育状態に注意

ロ、葉色濃いもの、密生のもの、發
育旺盛すぎるもの、葉円形のも
のを間引く。

ハ、茎細く葉少い順調に生育せるも
のを保存する。

追肥はなるべく早目に、十月以降ま
でおくものは九月頃に施す。

六、病 虫 害

イ、蚜虫、栽培上の大敵、ホリド
ル二千倍液を散布。

ロ、腐敗病排水不良、連作に発生。

品種比較試験

昭和二十九年三月六日下種

於新田

品種	芽 發	本葉 一枚	六月十五日生育調査十本平均		根の長葉の長	水洗全同	上 下	順位			
			重 量	品 重							
早渡	3月	18日	4月	2日	一・四三	二・五五	六〇	二五	一・九〇〇	一・〇〇〇	2
早生	3月	18日	4月	2日	一・四三	二・五五	六〇	二五	一・九〇〇	一・〇〇〇	2
中の宮	右同	4	2	一・四三	二・五五	六〇	二五	一・九〇〇	一・〇〇〇	2	
新田	3	23	4	10	一・三〇	二・三〇	四五	二〇	一・八〇〇	一・〇〇〇	5
本具長	3	20	4	5	一・三〇	二・三〇	六〇	二一	一・五〇〇	一・〇〇〇	6
常盤	3	18	4	2	一・三〇	二・三〇	五〇	二五	一・八〇〇	一・〇〇〇	4
滝の川	3	21	4	8	一・三〇	二・三〇	五〇	二〇	一・八〇〇	一・〇〇〇	3
所見	順位	發芽生育	根 身	品 質	病 気	栽 培	適 否				
1	順 調	順 調	二・五	最 良	普 通	最 も 有 望					
2	順 調旺盛	順 調旺盛	二・二	右に 稍同じ	強	有 望					
3	稍右に劣る	順 調旺盛	二・三	良 好	普 通	有 望	逼出し				
4	順 調旺盛	順 調旺盛	二・〇	中	強	有 望	逼出し				
5	發芽勢弱い	發芽勢弱い	三・〇	最 良	普 通	栽 培 密 度 考 慮 に て 増 収 見 込 あり					
6	順 調	順 調	二・〇	中	弱	不 適					

社会体育シリーズ

(6)

スポーツ・バツジ・テスト

一、基礎運動能力

基礎運動能力は、あらゆるスポーツマンに保有してほしい運動の能力基準を示したものである。従来、往々にしてスポーツを行う者の中には一技のみに秀で、また、一技のみに熱中して体力の基礎を培うことを忘れる傾向があつた。これは、スポーツの技の進歩を阻むばかりでなく、却つて之を妨げ、或は健康障害をさへ起す場合があるのである。

われわれはスポーツを楽しむ者に一定以上の全運動能力の基準を求めたいのであるが、どの能力も同一以上のレベルにあることを要求することは、スポーツの種類や年齢や体質によつて困難であるから、理想は理想とし、現状に則して本テストでは、走、跳、投、懸垂の四種目(女子は三種目)を行い、その人の特技によつて一〇〇点まで得点し得るように記録に従つて配点をしてあるのである。

実施の順序は、番号の順に、ソフトボール投から始め、一日で全種目を完了するのが原則であるが、実施

の都合で二種目宛、又は一、三種目宛と二回に分けて行つてもよい。

採点は全種目を行つて、その合計点が男子は二〇〇点、女子は一五〇点以上が合格点であり、この合格点を初級合格者とする。中級は、之に種目別の技術テスト基準に合格した者、上級は、基礎運動能力の得点が男子二五〇点以上、女子一八〇点以上であり、之に種目別技術テストに合格した者を合格とする。種目別技術テストと、基礎運動能力検査とは何れを先に行つてもよい。

二、基礎運動能力テストの方法

1 ソフトボール投

経二米の円内から投げて、円の中心を通した円周から落下点までを測定する。判定を便にするため三〇米、四〇米、五〇米の円心弧を描くことは差支えない。続けて二投し、その中遠く投げた方をとる。

2 懸垂

足を地上にふれることなく、鉄棒にかかり、顎が鉄棒の上縁に達するもので屈臂し、再び臂を伸ばし、之を一回と数え、これをくり返す。

3 走中跳

助走によつて跳躍し、実際に踏切つた足先から、砂場における身体の地

上にふれた地点の間を実測する。二回行い、その中、遠く跳んだ距離をその成績とする。

4 八〇〇米走及び六〇米走

正確に測られたコースで行い、ストップ・ウォッチを以て測定する。

5 縄跳

約一分間一二〇の速度を以て、両足交互跳を行う。二回行うことができる。途中、縄に懸つた場合は、更に続けて跳ぶことができる。

技術テスト種目

- 1 陸上競技
- 2 体操
- 3 水泳
- 4 漕艇
- 5 ヨット
- 6 自転車
- 7 重量拳
- 8 レスリング(男)
- 9 ボクシング
- 10 ラグビー
- 11 蹴球
- 12 ハンドボール
- 13 バレーボール
- 14 バスケツトボール
- 15 軟式庭球
- 16 軟式野球(男)
- 17 ソフトボール
- 18 卓球
- 19 すもう
- 20 バドミントン
- 21 馬術
- 22 弓道
- 23 ホツケ
- 24 撓競技
- 25 柔道
- 26 スキー
- 27 スケート(以上の中三種目)

三、運動能力基準表

性別	男子				女子		
	①ソフトボール投	②懸垂	③走中跳	④800米	①ソフトボール投	②60米走	③縄跳
100	70.0m	16回	6.60m	2.03分	42m	8.5秒	6.30分
95	67.5	15	6.30	2.08	40	—	5.55
90	65.0	14	6.00	2.13	38	9.0	5.20
85	62.5	13	5.70	2.18	36	—	4.50
80	6.00	12	5.40	2.23	34	9.5	4.20
75	57.5	11	5.15	2.28	32	—	3.50
70	55.0	10	4.90	2.33	30	10.0	3.20
65	52.5	9	4.70	2.39	28	—	2.55
60	50.0	8	4.50	2.45	26	10.5	2.30
55	47.5	7	4.30	2.51	24	—	2.05
50	45.0	6	4.10	2.57	22	11.0	1.40
45	42.5	—	3.90	3.03	20	—	1.30
40	40.0	5	3.70	3.09	18	11.5	1.20
35	37.5	—	3.50	3.15	17	—	1.10
30	35.0	4	3.30	3.20	16	12.0	1.00
25	32.5	—	3.15	3.25	15	—	0.50
20	30.0	3	3.00	3.30	14	12.5	0.40
15	27.5	—	2.85	3.35	13	—	0.30
10	25.0	2	2.70	3.40	12	13.0	0.20
5	22.5	1	2.55	3.45	10	—	0.10

郵便

十二月十五日から

幸田郵便局

(水曜日)

THE KODATYŌ KŌHŌ

(5) 昭和29年12月8日

郷土史料 (その五十)



俚 謠

志賀 又郎

八、手 鞠 歌

〇一で一本下駄はな緒がたより、二で庭はく簀がたより、三で盃お酒がたより、四つ嫁さん聲さんたより、五つ医者さん薬がたより、六つ娘はお化粧がたより、七つ泣きび母さんたより、八つ役者は刀がたより、九つ乞食はお椀がたより、十で殿様お馬がたより。

〇大黒様という人は、一に俵をふんまいて、二でにつこり笑つて、三で盃手に持つて、四つ世の中よいように五つ出雲の御殿にて、六つ無病息災で、七つ何事ないうちに、八つ屋敷をとり広げ、九つ小倉うち建てて、十でどさんと治まつた。

〇一つついては手をたゞき、二つついてはすす払い、三つついては耳ちぎり、四つついてはよりをかけ、五つついては糸を巻き、六つついては麦を搗き、七つついては葉を揃へ、八つついては鎗かつぎ、九つついては米を搗き、十つついては戸をたゞき一二三四五六七八九十、十で一かにかしました。

〇お月様さま、おまえはいくつ。十三七つまだ年しや若いね、あの子をうんで、この子をうんで、誰にだかしよ、お方にだかしよ、お方はどこへいつた、油買ひ茶買ひ、油屋の庭で、すべつてころんで、油一升ごぼいた、素人の犬と、玄人の犬と皆なめてしまつた、その犬殺して、太鼓にはつて、あちらからどんどん、こちらからどんどん。

〇おらがおせどのきしやの木に雀が三匹とまつて、一羽の雀のいうことによ、夕べござつた花嫁ご、今朝の座敷へ出いたれば、ほろりくとお泣きやるが、父さんこいしゆてお泣きやるか、母さんこいしゆてお泣きやるか、何もこいしゆはないけれど、小袖のこづまに血がついた、血だか紅だか見ておくれ、血だとおつしやりやはずかしい、紅だとおつしやりやおうれしい、血でもないが紅でもない、洗い川で洗つて、ゆすぎ川でゆすいで、しほり川でしいぼつて、糊つけ川で糊つけて、表へほせば人が見る、馬やへほせば馬が見る、お藪へほせば笹が見る、お寺の門にほいたれば、姑ばゞさに見出されて、大腹立や腹立や、それ程お腹が立つなれば、向うのお寺へ行つて

おいで、向うのお寺はたが主だ、一軒長者のおと息子、おと息子。〇今日今晚隣の恵比須講へよばれていつたら、お鯛の吸物、小判の焼物、蒔絵のお椀で、さゝ一ぱいすいませしよ、二はいすいませしよ、三はいすいませしよ、十はいすいませしよ、ちよろど一かにかしました。

〇おらがおせどの仙松が、今年始めて田を作る、稲はしおれる鎌はなし母さん鎌やへ鎌買ひに、父さん砥屋へ砥を買ひに、一年まつてもまだ見えぬ、二年まつてもまだ見えぬ、三年三月で状が来た。誰にこいしよて状が来た。お仙こいしよと状が来た。お仙やろうが何着せる、上にはこんこん紺屋染、下にはちんちん縮緬の中に中布ふきちらし、是程仕立てやる程に、道で転ぶな鼻つくな、手習子供と手を引くな、草刈小僧と草刈るな、爺がだいても出てくるな、母さんだいても出てくるな、聲さんだいたら早く出よ。

〇正月三日よい三日、雪のような飯食べて、木ぎれのような餅食べて、油のような酒のんで、尾頭つきのととそえて、お花のようなべべ着けて表へ出て遊びませしよ。一二三四五六七八九十それで一かにかしました

第七回表彰

優良公民館

- 北海道常呂郡置戸町字置戸一四四 置戸町公民館 (館長松田恒正)
- 宮城県塩釜市字町一三三 塩釜市公民館 (佐浦菊次郎)
- 山形県南村山郡蔵王村大字半郷七九 蔵王村公民館 (青木甚一郎)
- 福島県磐城市字煙川新川間六二 磐城市小名浜公民館 (高木長年)
- 群馬県佐波郡東村 東村公民館 (牛久保義宗)
- 新潟県佐渡郡吉井村大字三瀬川三三 吉井村公民館 (滝本薫)
- 石川県石川郡富奥村字中林四七八 富奥村公民館 (中島喜寿)
- 静岡県庵原村字庵原六八 庵原公民館 (山梨治保)
- 大阪府八尾市大字八尾四九の一 八尾公民館 (私市八三郎)
- 兵庫県養父郡大蔵村字宮田一九五 大蔵村公民館 (足立寛治)
- 岡山県勝田郡豊田村 豊田村公民館 (須一源平)
- 愛媛県東宇和郡野村町大字野村一二二 野村公民館 (池田政太郎)
- 福岡県築上郡友枝村字東下一五〇〇 友枝公民館 (大本古太郎)
- 鹿児島県出水郡高尾野町字大久保三 高尾野町公民 (伊牟田亀寿)

老いばれ区長のたわ言

やじろべ

私は七十歳を目前にした農家で年中手不足のN区長であります。依て視力鈍く、耳は伊勢路です。私の区では予算を組まず必要なだけ区費を徴収すると云う至つて寛大な行き方である。華やかな面では祭礼などには最高席で参拝し、消防団や青年団の招きによつて特席に押しあげられる等、卑賤な私には勿体なく感じます。半面駆除消毒の場合各戸のお勝手や寝床まで立入り便所のぞきまでやるがそれは見た程にいやな事ではない。特種では村は健やかか撮影にはエキストラにもなつた。以上は本年のN区長のタイトルバックであります。現今幸田町は「明るい健康な村づくり」をモットーとして立ち上り、全国から注目されて居るモデル町でありますから、華美は第二としてよく考へ最小の経費でお勝手は改善したものです。目まぐるしい戦後の急激な変化、又あらゆる面に文化の取り入れられる今日、役場の各課から流される事務を処理し大字自治を確立して行く事は古る臭い私が出る時期ではないと思ひながらも、得難い

代理人(副区長)が私の任務の大半を消化され、区議員、実行組合長各位が一致御後援を賜わるので感謝の内に出来るだけの努力はして居ます。町職員議委員が三年四年の任期であるのに、区長は一年退職者が多い。旧豊坂には代理人があつたが幸田には無い。区長と代理人は、町長と助役、団長と副団長の如く不可分のコンビである。此の任期の短い区長に概ね次期区長を予定されて居る代理人に旧豊坂のような制度が望ましい。代理人なくして区長は立ち得ない。五十歳を越えたならば呑気に余生を送ろうと云うのが壮年時の考へであつたが、世の荒波は中々そうはさせない。三十年程前区長を勤めた時の拙作を今も思い出して微笑する。時は變つても狂歌の意味はマツチする様だ。

人口動態 (10月分)

出生	20	男 10 女 10	累計 255	138 117
死亡	9	男 3 女 6	108	45 63
死産	1			3
婚姻	9			115
離婚	1			8

あゝせわし田畑一丁野場区長やくりくりサンダン外にゴセゴセこうして合併第一年はイヤ応なしに暮れて行きます。

保月庵茶話 (三)

白梅会記

千利久の巻

或る時さる人の茶会に細川三斎が利久と同道で招かれた折、露地の飛石の傍に熊笹の繁みをみて、利休が眉をひそめて苦笑したのを見とがめて三斎は「何故笑われるのか」と問うと「このような笹の植方は一番よろしくない、袴や裾をぬらして客を一番困らせる。心なき亭主の仕業である。」と答えた。

茶は客の心を一番大切にしなければならぬものであります。利休居士の言葉に、冬は暖く夏涼しく、炭はよく湯の沸くようにと教えています。お客様にとつて茶はただ難かしいものに考えられがちですが、喜び楽しむ事のできるものであるようにしたいものであります。夏涼しく冬暖く忘れがちな言葉であるが、客を迎える心得としては、すべてこの心得が大切で、他の種々のこともこれをおし広めて始めて心のこもつたお茶が出来るのであります。

利休の催した茶会記などに、三日夜の間準備に心を配り、やがて一

服の茶を点てる時になれば、そのすべてを忘れ去り、客をもてなした有様が生々して記し残されています。

この記を草することになつて後二ヶ月程へた八月二十八日、立つ秋風と共に突然、わが師保月庵先生は逝去されました。同好の悲しみは筆舌に及ぶものがあります。

八十四の高齢を茶道一途に生き抜き励んで参られました。師の教えを受けた者は、国府高等女学校奉職三十七年間の教え子を始め、蒲郡、御津、幸田の一市二町に亘り、ひたすら茶道文化に貢献されたのであります。

先生の談話を中心に記すことになつていきましたのが、これからは遺訓を中心にお互いがまともていきたいと考えています。尙今後は由良りゆう様が引き続き指導に当られ、益々斯の道のために尽されることになりましたことを付記してこの稿を擱きます。

世界人権宣言六周年記念

人権週間

十二月四日から十日まで

十八日に午後二時から

永田 稔氏の講演

幸田町公民館で

駅から皆さまへ

毎年十二月には、旅客の増加に伴つて、鉄道における旅客や一般通行者の死傷者が多くなります。事故の二〇%近くが今月中に起るもので、通行者の死傷は踏切通行中、或いは線路を通つて起す事故で、鉄橋上の死亡者も多くなつています。年末に際し、今年こそこのような犠牲者を一人も出さないよう、次の点について特に注意しましょう。

◎ 赤 信 号

- 1 乗車したら必ず安全な車内へ入ること。旅客事故の大半は車外に乗り出して振り落とされたり、汽車電車や電柱との接触によりです。
- 2 飛び乗り、飛び降りりは危険の大きなものと。
- 3 必ず正規の所を通行し、急いでも線路や、橋上の通行は厳禁です。
- 4 警手のない踏切道には、一人で幼児を通らせないこと。
- 5 車内へ規定外の荷を持ちこまぬこと。
- 6 禁煙の乗物内での喫煙は、火災発生の原因になることがあるから、慎しみましょう。

—— 幸田駅長 ——
町の心臓！幸田駅

海の家から

— ありがとう —

昭和二十九年も、もう残り少なくなりまして。皆様には、益々御清栄の御事と、お喜び申し上げます。昨年は、思い出しても、身ぶりのするいやな台風十三号で住む家も、着物なども、みなめちや／＼になりました。その日から困つてしまいました。その時に、皆々様から早速御同情いただき、又いろ／＼と御援助下さいましたので、その苦しさもきりぬけることが出来ました。そのうれしかつたことは、私たちの胸にきざみこまれていきます。一生の思い出になりますよう。

その後、家も修繕やら、建て増しやらしていただきました。今年の五月に出来上りました。その当時から見ますと、見ちがえるようになりました。ほんとうにうれしうございました。

そのよいお家で、二十五日にはクリスマス催しをいたします。今、劇や、歌などのけいこに一生けんめいです。又、正月の楽しい日をごん／＼に暮そうかなと、いろ／＼考えています。

今年のお正月には、皆さまからたくさん年賀状をいただきました。ありがとうございます。その年賀状のくじで、いろ／＼のものがあつて又、うれしうございました。

昭和三十年も、皆さまからいただきましたようおまちしています。おねがいします。

寒さも一日ごとに増してきます。私たちが体につきをつけて、よい正月をむかえたいと思つています。

皆さまも、よいお年をおむかえ下さいませよう、御祈りします。

昭和二十九年を終りますので、お礼を申し上げます。ありがとうございました。

宝飯郡御津町大字御馬
養護施設、海の家長 西脇正治
職員一同
こども 八十名

今年の供米量

部落名	供出 噸数	確保 量	超過 額	奨励 額	供出 噸数	超過 額
長嶺	230.1				15.6	
久保	220.8				15.0	
坂崎	805.9				54.7	
大草	663.9				45.1	
高力	350.6				23.8	
鷲田	357.7				24.3	
東部	235.6				16.0	
新田	275.8				18.7	
岩堀	538.8				36.6	
横落	19.4				1.3	
萩	285.4				19.4	
芦谷	116.1				7.9	
幸田	10.0				0.6	
市場	86.7				5.9	
里	83.6				5.7	
藤谷	50.5				3.4	
瀬川	41.0				2.7	
大栗	67.0				4.5	
上栗	35.3				2.5	
六栗	152.6				10.4	
須美	175.1				11.9	
野場	1,074.8				73.0	
永野	291.3				20.0	
合計	6,168.0				419.0	

増産百語

仁と智

庭前の落葉は無心に日々夜々につもる。これを掃きもせずほつておくのは人道ではない。しかし掃いても又すぐ散つてく

一々気にして一枚葉が落ちたからといつては箒をとつて立つのもばかである。人を導く場合も同じことがいえる。愚人でも悪人でもよく教えるがよい。教えて聞かれない。腹を立ててはいけぬ。腹を立ててはいけぬ。教えに從わぬからとて見捨てることなく、幾度でも教えるのである。聞かないからとて見捨てるようでは仁者とはいえない。又從わぬからとて憤るのは智者ではない。

仁と智との二つを心がけて、わが徳を全うすべきである。

(二宮尊徳翁の言葉)

おしやれかどみ

一、唇の描き方、露子

口紅はあまりぬるぬるして光るの
はよくありません。しつとりとよく
伸びるものを選びます。それに、輪
郭をしっかりと描くために紅筆はぜひ
揃えましょう。きれいな唇の型を描
くためには、自分の顔の全体のバラ
ンスをよくのみこむことです。大げ
さな紅のぬり方はいけません。

輪郭をはつきり描き内部は少量の
紅をよくのばします。型は、あくま
で自分の唇に忠実に、その欠点を目
立たなく、美しく引き立てるように
工夫します。

自分の顔をよく知ることが美しく
なる基になります。

尚、寝る前はオリブ油でマッサ
ージュして唇を大切にしましょう。

先ず輪郭をすつかり、目立たなく
白粉でつぶす。

次に紅筆で自分の欠点を見ながら
口を自然につぼめたまま、輪郭をかき
、それから内部をぬる。

A 上唇がつき出た人

上唇を横に長く見せるようにして
下唇はあまり横にひろげない。しか
し上唇を、あまりはみ出させると下

品になります。

B 厚くて大きな人

白粉で輪郭をつぶし、それから内
部で自分の唇よりやや小さめに輪郭
を描く。紅はあまりこくしない。

内側を濃く、外側をうすくすると、
ますます大きく見える。又輪郭をあ
まり小さく描くと反つて大きく見え
る。

C オチヨボ口の人

外側を強くはらせる。但し唇の両
端は自然のまゝにして、外側へ大き
くかくことをしない。

D うすくて大きな人

唇の両端をなるべく、内側に描き
上下をほんの少し強張する。

大掃除

年末の大掃除は徹底的にいたしま
しょう。

1 台所から廊下まで、天井のすゝ
をはらいます。

2 畳をあげて、灰汁又はソーダ水
を草箒につけて洗い、後を真水で
すすぎます。

3 額の裏のはこりも払います。

4 壁の部分的な汚れは、やすり紙
でこすりましょう。

5 ペンキ塗の処は石鹼水をつけた

布でふきます。

6 壁の全体的な汚れは、水性ペン
キをぬるときつばりします。

7 硝子は濡れ雑布でふき、沈降炭
酸石灰と粉石鹼をまぜたものを両
面にぬり、乾いてから、布でふく
とよくとれます。

8 電灯の笠のはこりをよくぬぐう
ように。

9 ほした畳はよくたたいてほこり
を出し、ブラシをかけます。

10 床にDDTをまき、その上に新
聞紙をしいて、畳を入れます。

11 便所掃除を充分にすること。便
器は、水に工業用の塩酸をたらし
柄のついたブラシにしませてぬぐ
います。そのあとを水洗いするこ
とを忘れないように。でないと、
磁器をいためます。

12 清掃して出た塵芥は、適当な処
に一まとめにして、硝子、陶磁器
のかげらは穴をほつて埋め、ぼろ
きれや紙屑は焼いてしまいましょ
う。あとの火の用心を忘れないよ
うにして下さい。



とばね句会報

萩分館

汽車止まる秋のレールに砂こぼし 萩雨

黍をつむ一穂一穂を掌にうけて 萩雨

塔のある社黒々と霧流る 雪嶺

走りゆく雲影濃ゆき青田かな 待月

青柿の落ち来し庭に暮れどき草月

大やかん川に冷して工夫立つ 桂子

牛冷す手綱も水に滴りおり 萩雨

清水湧くほとりに一つ伏茶碗 一蝶

屋酒に酔増しゆくや青嵐 幸田

涼しさや糸はる蜘蛛もゆれ乍ら萩雨

食卓を離れて集う窓涼し 句路

藪こもる蚕の歩み静かなり 萩雨

母呼べば桐蔦豆の中に立つ 桂子

萩群れる葬場に吾子引入れて 幸田

新涼に手首の太さ試しけり 待月

人恋うて山羊なく夕霧はれず 雪嶺

田甫道行けば夜露に下駄ぬれる隆句

名月をたらいに入れて夜洗濯 瀨頌

鶏頭花一もと残し畑をうつ 幸百

幸田俳壇のおしらせ

「トシハ」年の始、思い出し、合併
の、トエ貴郎、羊の声、泉水、
のんびり、明るい町、雪隠れ

△二十句 一組

△十二月三十一日 締切

△開巻 一月三十日

△互選で 三光賞

深溝分館

新春の巻